

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	管理不全な空き家にしないための取り組み 【事業費予算 500千円】
事業目的・概要	私たちの周りには、様々な地域課題（困りごと）があります。西区自治協議会では、管理不全な空き家を増やさないために、管理不全な空き家にしないための啓発事業に取り組みます。
事業の実績 （実施回数、参加者数など）	1 啓発内容 ・いま住んでいる家も空き家になる可能性があるということ ・管理のために気を付けなければならない項目 ・将来のことや相続のことを家族で話し合っておく大切さ ほか 2 手法 ポスター等を用い、委員一人一人が啓発活動に取り組む ・周知ポスター作成（コミ協、自治会を通じて掲示、公共施設へ掲示） ・周知映像の作成（コミ協に配布ほか） ほか
事業の評価 （地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など）	【地域課題の抽出とその解決策】 多くの地域で、所有者が分からなく、管理が行き届かない「迷惑空き家」、いわゆる迷惑な空き家についてさまざまな悩みを抱えていると聞いている。 昨年度開催したシンポジウムや勉強会を踏まえ、管理不全な空き家にしないため伝えたいことをまとめ、映像やポスター等作成し啓発活動に取り組んだ。 【成果と課題】 ・空き家問題の中でも管理不全な空き家にしないための取り組みに焦点を当てて取り組んだことが良かった ・ポスターや映像を通じ、啓発活動を行うことができた。 ・空き家に関する問題意識を持ってもらうことができた。 ・インパクトのある、意図の伝わるポスターが作成できて良かった。 ・持ち主が分からない等の迷惑空き家の悩みは続いている。 空き家の利活用など継続的な市の取り組みも必要と思う。 ・作成したポスターや映像を活用して、継続的な啓発の取り組みが必要。 引き続き、会合等で啓発していきたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	「支え合いの大切さ」を広める標語の募集 【事業費予算 500 千円】
事業目的・概要	「支え合いの大切さ」を広め普段から支え合える地域となるために、標語を募集して、応募をきっかけに「支え合い」について考えてもらう。
事業の 実施実績 (実施回数、 参加者数など)	<p>募集対象 西区内に在住、在勤又は在学する者</p> <p>募集期間 6月1日～8月31日</p> <p>応募数 186点</p> <p>選定方法 第2部会で審査</p> <p>入賞等 最優秀賞1点、優秀賞6点を選定 入賞者に、賞状及び副賞として新潟市共通商品券(最優秀賞3,000円、優秀賞1,000円)を贈呈</p> <p>周知等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区役所ホームページ掲載 ・標語入賞者表彰式10月30日 参加者 約50名 ・新潟日報11月21日掲載 ・西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」第34号 50,220部 ・西区役所健康福祉課発の封筒への印字 ・使用基準を定めた
事業の評価 (地域課題の抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性 ・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】</p> <p>平成30年1月の大雪を機に、地域での支え合いの大切さが再認識された。このことを普段から意識してもらうことで、有事だけではなく普段から支え合える地域となることができると考え、意識するきっかけとして標語を募集した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標語の応募に際し、186名の方が「支え合いの大切さ」について深く考えた。 ・募集チラシ10,000部や自治協広報紙50,220部の配布などにより、多くの方が「支え合いの大切さ」を再認識するきっかけとすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支え合いの大切さ」をより浸透させていき、区民の行動変容につながるように取り組む必要がある
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

区 分	内 容
テーマ・事業名	地域の担い手育成等 【事業費予算 500千円】
事業目的・概要	多くの自治会・コミ協が担い手不足や担い手育成の課題を抱えている現状に寄り添い、担い手不足等の解消のヒントとしていただく取り組みを実施する。
事業の 実施実績 (実施回数、 参加者数など)	<p>(1)自治協委員が住んでいる地域等の現状（情報）を把握するため委員アンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会やコミ協の役員等の決め方等の現状や課題 ・担い手不足解消や担い手育成等のヒントとなる取り組み事例 <p>(2)持ち寄った情報をリーフレットにまとめ、自治協委員が地域等に持ち帰り、情報を共有した。</p>
事業の評価 〔地域課題の抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性 ・効率性の評価など〕	<p>【地域課題の抽出とその解決策】</p> <p>多くの地域で、担い手不足等についてさまざまな悩みを抱えていると聞いている。 今年度は、まずは委員の住んでいる地域の現状を把握するために委員アンケートを実施し、課題解決のヒントをまとめ、周知した。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の担い手育成等」をテーマに事業募集したが採択しなかったため、担い手不足等について課題解決のヒントとなる事例を集め、まとめた。 ・引き続き担い手不足について課題解決のアイデア出しを行い、その内容をもとに地域の担い手育成に向けた取り組みを行いたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域課題解決に向けた提案募集 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	人口減少・少子高齢化の進展など社会経済情勢の変化や住民ニーズの多様化に伴い、地域課題が複雑化する中、地域の状況を的確に捉え、課題解決に向けて一層きめ細かに対応していくため、地域課題の解決に取り組む団体から、より高い効果が得られる事業を募集し、西区自治協議会と協働して実施する。
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>①事業テーマ 地域の担い手育成(自治会、民生委員・児童委員)等 採択事業なし</p> <p>②事業テーマ 区の魅力発信・賑わい創出 【事業名】新川と内野の魅力をQRコードで情報発信し、まちおこしにつなぐ事業～新川の歴史と“共助”のこころを、200年後の人につなぐ～ 【実施団体名】越後新川まちおこしの会 【内容】越後新川まちおこしの会が西区の湛水地帯を穀倉地帯に変えた「新川開削」について調査し、新川の歴史と意義を広報してきた看板等にQRコードを貼り付け、訪れた人にスマートフォン等によりその情報を読み取ってもらうことで、過去の情景やイベントの実況を体感してもらった。 越後新川まちおこしの会ホームページを作成。 QRコードを内野まちづくりセンターにて展示中の底樋模型や越後新川まちおこしの会が作成した看板等に貼り付けた。 (QRコード貼り付け場所は順次拡大予定)</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区内の地域課題解決に向けて、重点的に取り組む地域課題を抽出し、それらの解決に資する事業を公募し、提案団体と協働して実施した。</p> <p>【成果】 ・提案団体である越後新川まちおこしの会ホームページを立ち上げ、アクセスした方に当事業で貼り付けるQRコードで読み取ることのできる過去の状況やイベントを読みとってもらうことができた。 ・QRコードの応募に際し、応募者それぞれの視点で「面白そうだ」「読み取りたい」と思わせるような作品を作るために、西区について深く考えた。 ・本事業で作成したホームページや貼り付けたQRコードは区の魅力を発信し続ける財産として今後も活用し、情報発信を続けることができる。</p> <p>【課題】 ・本事業の周知にかける時間が不足していたため、十分に魅力の浸透を図ることができなかった。</p> <p>【良かった点】 ・ノウハウのある地域活動団体と協働することで、効果的に課題解決ができた。</p> <p>【改善点】 ・自治協と提案団体の間で課題解決の手法に対するイメージのズレが生じていたため、提案団体に求める解決課題について詳細な審議が必要。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第8回西区アートフェスティバル+音届 【事業費予算 1,750 千円】
事業目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区全体の文化風土を耕して区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいるアーティスト等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 ・西区の魅力を発信する。 ・コロナ禍の中、さまざまなイベントが中止となる中、区民に元気を与えたい。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・音楽の発信の場として、また、多様なアート作品展示により、西区の宝を共有するイベントを開催。併せて、新潟大学の学生が企画・運営した親子で楽しむ音楽イベントを開催。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p><西区ゆかりのアーティストによるオンラインコンサート> 令和2年11月8日(日) 14:00～15:30 【出演団体】第1部 田辺千枝子(ソプラノ) 山際規子(ピアノ)、第2部 史佳Fumiyoshi(三味線) 【動画配信】コンサートの様子を新潟シティチャンネル (YouTube) で配信</p> <p><アート展示部門> 令和2年11月7日(土)13:00～17:00、11月8日(日)9:00～16:00 黒崎市民会館 【作品内容】 ①新潟大学工学部によるアート作品 ②アール・ブリュット作品 ③区内小学生の自由研究優秀作品 【動画配信】作品の一覧を新潟シティチャンネル (YouTube) で配信</p> <p><ミュージックパラダイス～音の世界へ飛びこもう!～> 令和2年11月8日(日)10:30～11:10 小学生以下のお子さんを対象とした親子で楽しむオンライン参加型イベント</p> <p><来場者・参加者延べ人数等>:1,143人(アート展示部門240人、オンラインコンサート80人、ミュージックパラダイス20人、動画配信(令和3年3月15日現在)アート展示部門364人、オンラインコンサート496人)</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>◎アートフェスティバル 【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されており、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、西区出身で音楽活動やアート作品の制作に取り組んでいる方に総合的な発表の場を創出し、区民の一体感を醸成を図った。</p> <p>○オンラインコンサート 【アンケート結果】 ◆調査方法：オンライン回答 ➤オンラインコンサートはいかがでしたか [とても良い…78.9%、まあまあ良い…15.8%、ふつう…0.0%、やや不満…5.3%、不満…0.0%]</p> <p>【評価(成果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でできる事業を実施しようと、オンラインコンサートと新潟シティチャンネル (YouTube) で動画配信を行った。自宅にいながらでも安心して西区出身アーティストの音楽を楽しんでいただくことができた。 ・オンラインでは、普段では見られない演者の手元や衣装の質感など、細かいところまで見ることができたのが良かった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの開催ということで参加者が少なく、情報発信の手法や周知期間について見直す必要がある。周知期間については、コロナの影響で開催内容調整に時間がかかってしまい短くなってしまった。早めに事業内容を決定する必要がある。 ・視聴者のネット環境によるものだが、音が途切れたとの声があった。

○アート展示部門

【アンケート結果】

◆調査方法：来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。◆有効回答：240名

➤アート展示部門はいかがでしたか

[とても良い…40.8%、まあまあ良い…24.1%、ふつう…2.5%、やや不満…0.0%、不満…0.0%、無回答32.6%]

【評価(成果)】

・アート活動をしている大学生、障がいのある方、小学生に発表の場を提供し、また、多くの方に様々なジャンルのアート作品に触れていただくことができた。

【課題】

・作品への案内をわかりやすいよう、案内図や空間づくりを工夫する必要がある。

○ミュージックパラダイス(子どもを対象としたオンライン音楽イベント)

【評価(成果)】

・コロナ禍で様々なイベントが中止となる中、オンラインで安心してイベントに参加いただけた。

・大学生が子ども目線に立ち、事業を企画・実施したことにより、学生にとってもいい学びの場となった。

【課題】

・オンラインの開催ということで参加者が少なく、情報発信の手法や周知期間について見直す必要がある。

備考